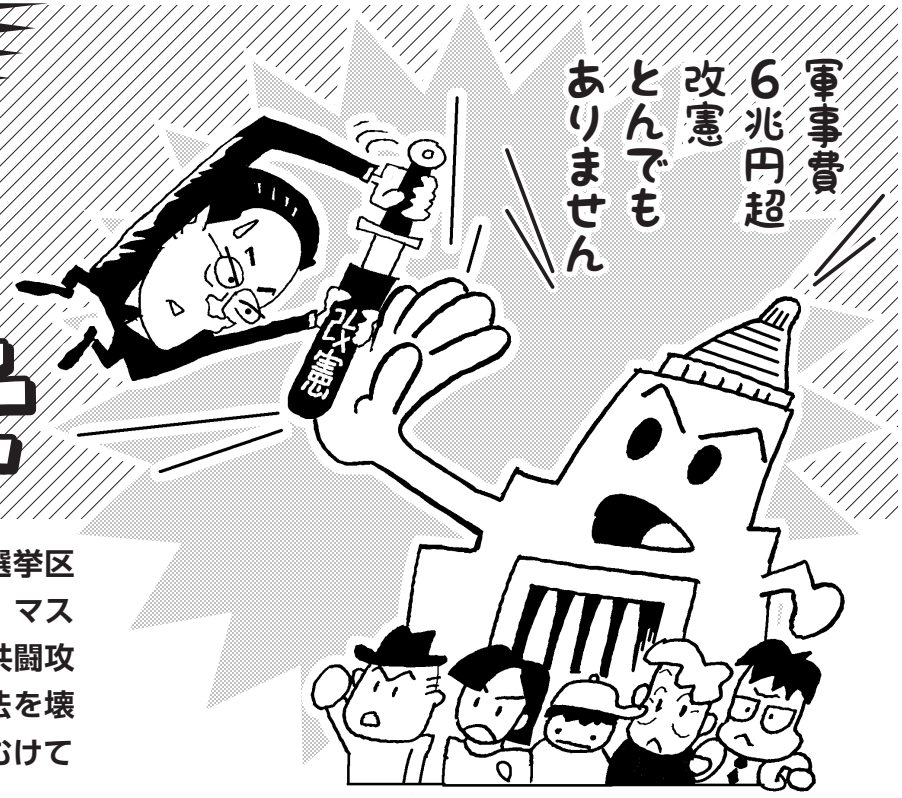
岸田大軍拡・壊憲NO!

憲法いかし 米中の緊張緩和こそ



市民と野党の共闘で政権交代をめざした総選挙。自公候補との対決となった小選挙区213のうち59選挙区で勝利しました。1万票差内での競り負けは31選挙区にのぼり、マスコミも「自民薄氷の勝利」と報じました。「野党共闘は失敗」と自公や維新などは共闘攻撃を強めています。市民と野党の共闘は「失敗」ではなく、前進しています。憲法を壊し、大軍拡と大企業・富裕層優先の政治を強める岸田自公政権。7月の参議院選挙にむけて市民と野党の共闘をいっそう発展させ、政治を変えましょう。

大軍拡ではなくコロナ対策、いのちを守れ

総選挙公約に「敵基地攻撃能力の保有」や「ＧＤＰ比2%以上の防衛費増額」を明記した岸田自民党。21年度の軍事費は補正予算と合わせ6兆円を超えました。22年度予算案でも、敵基地攻撃能力を強化するための米国製Ｆ35Ａステルス戦闘機などの爆買い、宇宙軍拡を進める「宇宙作戦群」の創設、長射程化した12式地対艦誘導弾などを計上。

日本が対中国の軍事力を増強すればするほど、戦争の危険が高まります。「９条いかして米中緊張緩和の外交努力を」の声をあげましょう。

憲法いかす政治に 憲法改悪を許さない署名にご協力を！

臨時国会で開かれた衆院憲法審査会。自民党や公明党、維新の会の議員は、自衛隊の明記や緊急事態条項の創設など改憲論議の加速を求め、立憲民主党や共産党の議員は「改憲ありき」の姿勢を批判しました。９条に自衛隊を明記すれば、安保法制のもとで戦力不保持・交戦権否認の規定は空文化し、自衛隊が何の制約もなく海外での戦争に参加できます。

「憲法改悪を許さない全国署名」を大きく広げるとともに、憲法審査会委員や地元国会議員に「改憲ではなく、憲法を生かす政治を」の声を届けましょう。

憲法共同センター（戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター）
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F
TEL 03(5842)5611 FAX 03(5842)5620
http://www.kyodo-center.jp/

2022.1